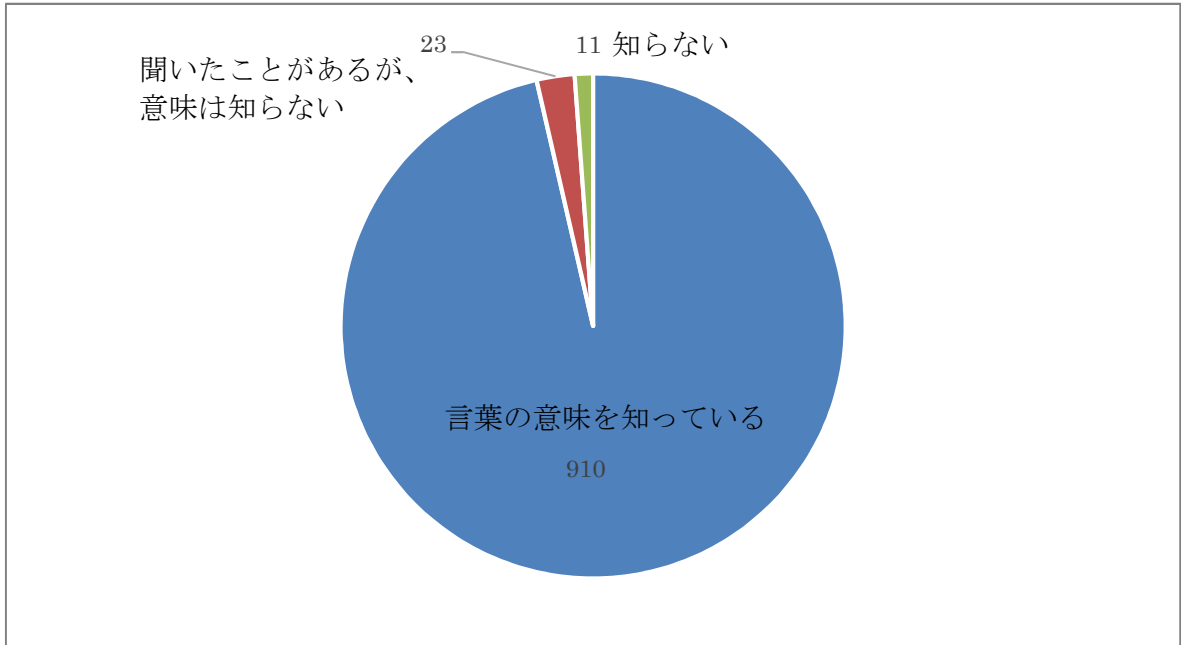


令和3年度 電子アンケート設問

LGBT等について（回答数953）

◆設問1

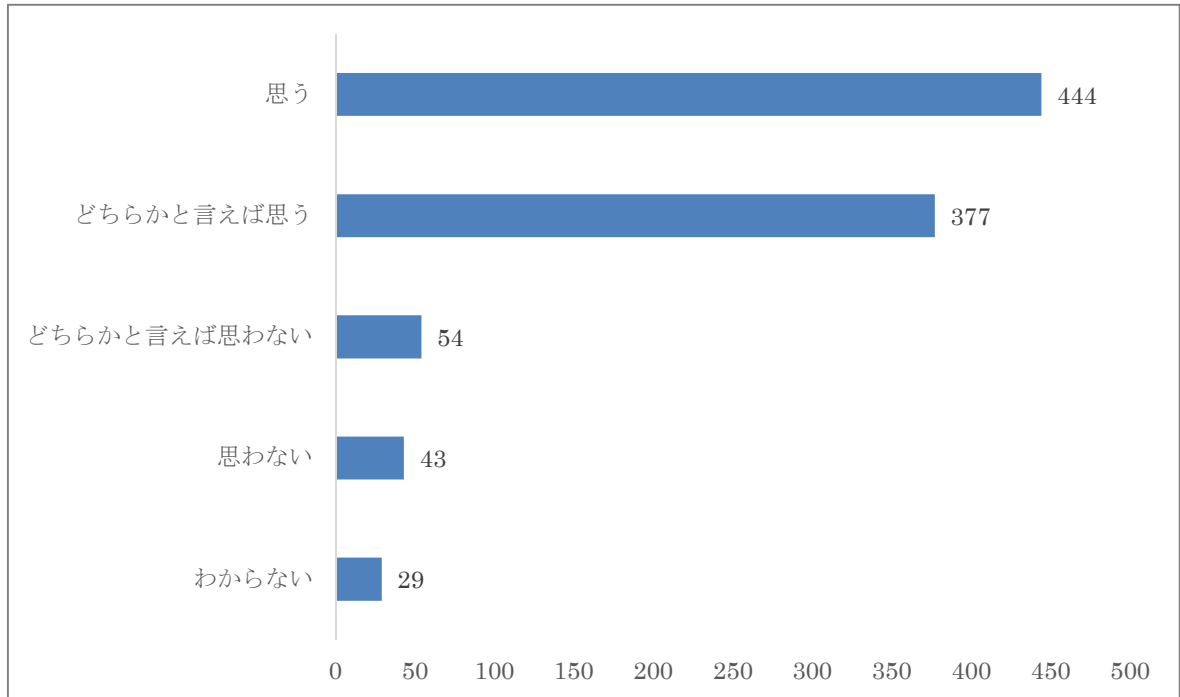
「LGBT等」または「性的少数者（性的マイノリティ）」という言葉を知っていますか。



「LGBT等」または「性的少数者（性的マイノリティ）」という言葉を知っているか聞いたところ、「言葉の意味を知っている」910人、「聞いたことがあるが、意味は知らない」23人、「知らない」11人という結果になりました。

◆設問2

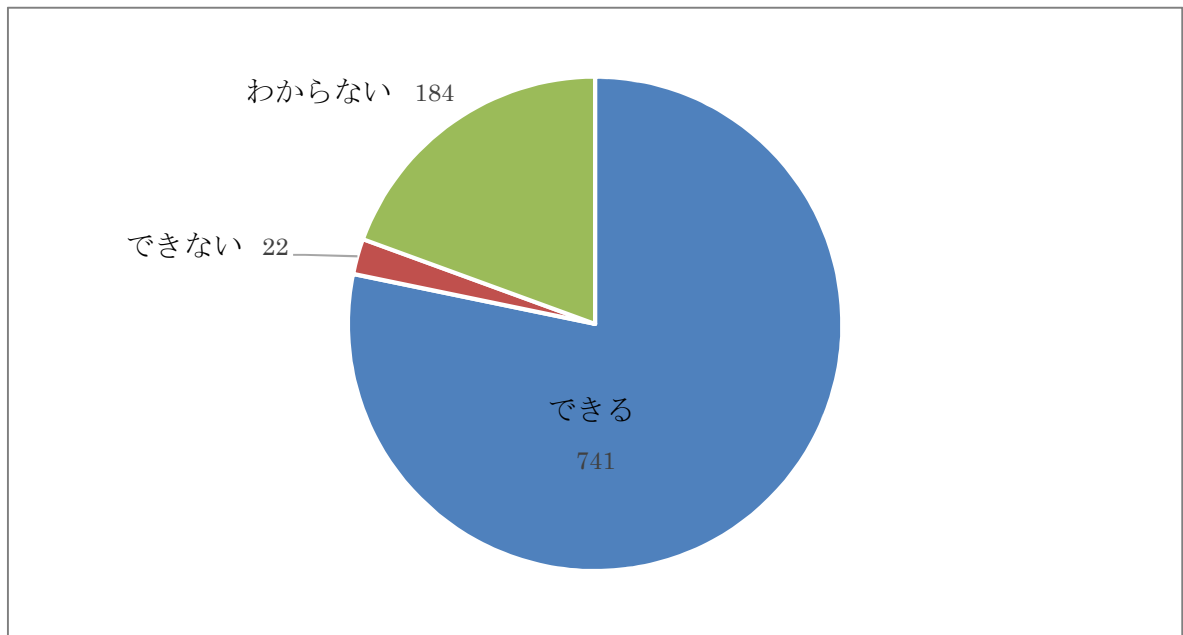
現代の社会は、性的マイノリティの方々にとって、偏見や差別などにより、生活しづらい社会だと思いますか。



現代の社会は、性的マイノリティの方々にとって、偏見や差別などにより、生活しづらい社会だと思うか聞いたところ、「思う」444人、「どちらかと言えば思う」377人、「どちらかと言えば思わない」54人、「思わない」43人、「わからない」29人という結果になりました。

◆設問3

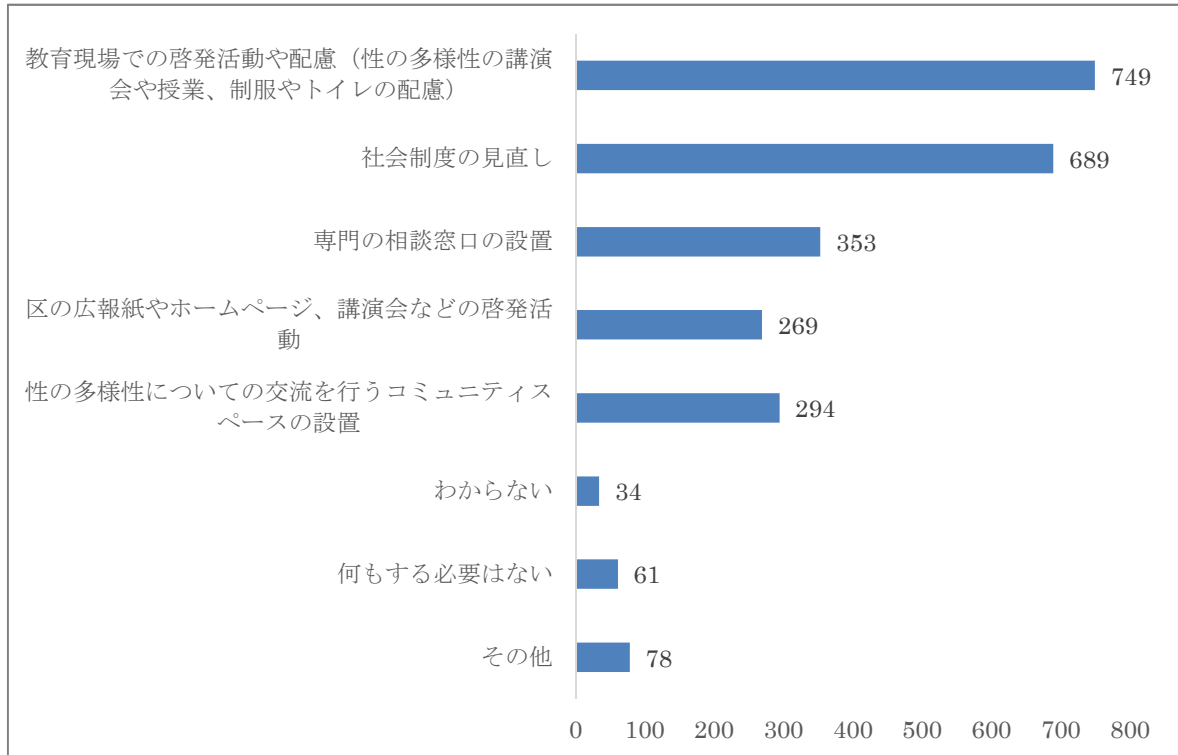
身近な方（家族、友人など）や学校や職場内の人に、性的マイノリティであることをカミングアウトされた場合、これまでと変わりなく接することはできますか。
※カミングアウトとは、性的マイノリティであることを自分以外の人に打ち明けることを指します。



身近な方（家族、友人など）や学校や職場内の人に、性的マイノリティであることをカミングアウトされた場合、これまでと変わりなく接することはできるか聞いたところ、「できる」741人、「できない」22人、「わからない」184人という結果になりました。

◆設問 4

今後、性の多様性を認め合う社会をつくるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。（複数回答可）

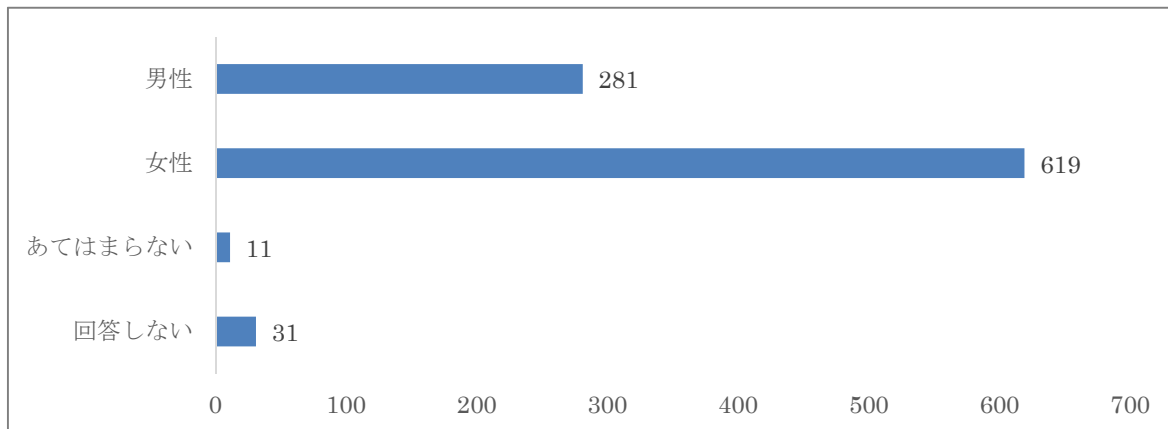


今後、性の多様性を認め合う社会をつくるためには、どのような取り組みが必要だと思うか聞いたところ、とくに多かったのが「教育現場での啓発活動や配慮（性の多様性の講演会や授業、制服やトイレの配慮）」749人、「社会制度の見直し」689人、「専門の相談窓口の設置」353人、「性の多様性について交流を行うコミュニティスペースの設置」294人という結果になりました。

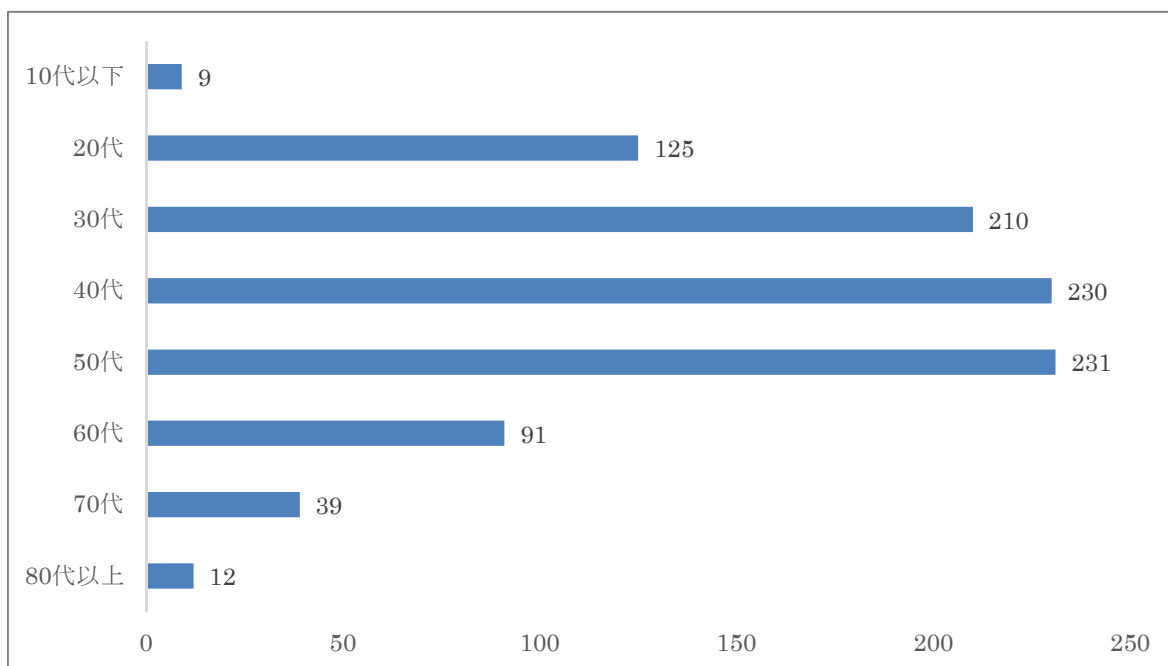
「その他」意見（抜粋）

- ・性の多様性は当たり前のことという教育を幼い頃から教えて体得させるべき
- ・学校での教育や社会人、年配の方への啓蒙活動
- ・婚姻制度の確立。それがすぐにできない場合には、行政単位での「パートナーシップ宣誓制度」も必要
- ・性別が制限されないトイレや更衣室の設置
- ・性の多様性は存在しない。社会が合わせるのは間違い

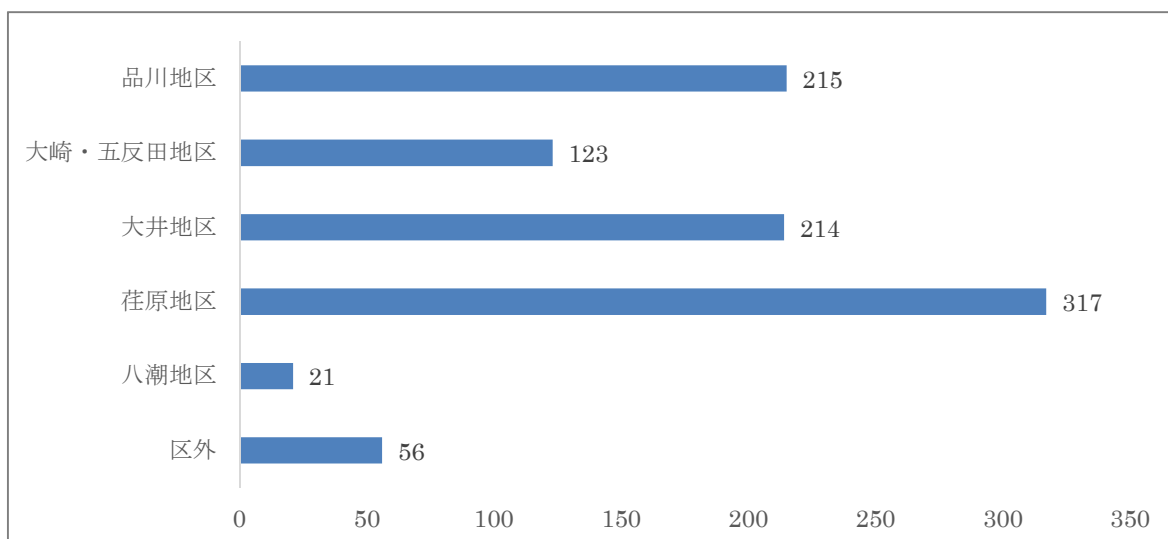
◆ F 1 回答者の性別



◆ F 2 回答者の年齢



◆ F 3 回答者の居住地



～ご協力ありがとうございました～